

## 会 議 録

会議の名称	平成27年度第2回 藤岡地域会議
開催日時	平成27年6月23日午後7時07分開会・午後8時34分閉会
開催場所	藤岡総合支所旧議会棟 会議室
出席者氏名	別紙のとおり
欠席者氏名	別紙のとおり
事務局職員職氏名	別紙のとおり
その他出席者等	別紙のとおり
会議事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 栃木市文化振興計画推進懇談会委員（参加者）の推薦について</li> <li>・ 地域予算提案制度に関する藤岡地域の課題について</li> <li>・ その他</li> </ul>
会議の公開又は 非公開の別	公開
傍聴人の数	無し
その他必要事項	無し
会議の経過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
	<p>1 開会</p> <p>2 委員紹介</p> <p>3 会長あいさつ</p> <p>4 議事</p> <p>（1）栃木市文化振興計画推進懇談会委員（参加者）の推薦について</p> <p>&lt;説明&gt;</p> <p>◎会 長 事務局に対し、協議事項の説明を求めた。</p> <p>○事務局 資料に基づいて説明した。</p> <p>◎会 長 委員に対し、推薦者の指名及び立候補を求めた。</p> <p>◎A委員 酒井委員を推薦する旨述べた。</p> <p>&lt;採決&gt;</p> <p>◎会 長 酒井委員を推薦することについて、委員に対して異議の有無を確認した。</p> <p>◎委 員 異議なしの声。</p> <p>◎会 長 異議がないと認め、酒井委員を推薦することを宣言した。</p> <p>○事務局 酒井委員の承諾の意思確認後、推薦の手続きを取ることを述べた。</p> <p>（2）地域予算提案制度に関する藤岡地域の課題について</p> <p>&lt;説明&gt;</p> <p>◎会 長 事務局に対し、協議事項の説明を求めた。</p> <p>○事務局 資料に基づいて説明した。</p>

	<p>&lt;質問&gt;</p>
◎会 長	委員に対して質問等を求めた。
◎A委員	提出した藤岡地域の身近な課題の一つ目、遊水地の案内標識の不備と出入口の改善と危険防止については、遊水地の入口が殺風景でダンプの通行もあり危険な状態が長い間改善されていない。来訪者に歓迎のメッセージが出ていない。管理者が国であるなどの問題はあるが、地元市町村として積極的に関わり、渡良瀬遊水地を地域資源として地域活性化に活かすべきというのが提案の意図である。二つ目は、小中学生の児童・生徒数減少の深刻な状況であるが、現在、全市的に学区審議会で審議がされているが、子どもの社会性を育むために教育環境を改善すべきだという意図である。
◎B委員	提案になるが、協議を進めていくためには、テーマごとに分けて検討するなどの工夫が必要ではないか。
◎会 長	今回の会議では皆さんに忌憚りの無い意見を出してもらい、次回会議でまとめることを考えていた。
◎B委員	具体的な事業計画書の作成リミットは7月中旬ということか。
○事務局	事務局としては、次の7月14日の会議には、事業の絞り込みをしていただき、7月28日の会議で事業計画書原案を取りまとめることを目標に進めたいと考えている。
◎B委員	あと1か月の中で各論的な作業をしていかないとならないので、スケジュールを立てないとまとまらない。この期間の中で、テーマごとに集まり、事業を具現化するようなものをつくっていかないとならないと思う。
◎C委員	資料2にある課題を見ると、長いスパンのものが多く、その中で真に今やるべきもので地域予算を消化できる事業を事務局の方でいくつか抜粋してもらい、今回の予算に反映させるという考え方はいかがか。
◎会長	その地域予算を活用出来る事業を全員から出してもらおうか、委員会をつくって検討するか、いろいろな方法があると思うが。
◎B委員	確認だが、今回の予算はあくまで地域住民や各種団体と一緒にやっていく事業に対する予算ではないのか。
○事務局	地域住民やこれから出来るであろう実働組織だけでは、解決できないものについて地域予算提案制度を活用して市の所管課にやっていただく制度である。
◎B委員	その予算を使い地域で実施するという制度と思い違いをしていた。
◎会長	あくまでもその予算を使って行政側が行うもの。実働組織にはその活動に対して別に補助金が出る。
◎A委員	今回の出してもらった課題は尊いものがたくさんあり出来るだけ取り上げたいのだが、地域予算288万円は28年度単年度予算なので長年にわたり解決していく問題や全市的課題は対象にならない。ある程度枠が決まっているので、条件に見合ったものしか該当しない。今回出した課題について事務局側で可能性の有無は承知していると思うので、仕事を進める上で事務局側である程度ふるいにかけてもらい、それをもう一度我々でふるいにかける方法があると思うが、そう

	<p>いう考え方はいかがか。</p> <p>◎C委員 今後は、部会をつくり課題について話し合っていくべきだと思うが、この地域予算の額等は、来年度はどうなるのか。</p> <p>◎会長 来年度も単年度で288万円となる。</p> <p>○事務局 前は、人事案件など取り決める事案などもあり、新たな地域自治制度の説明や議論が十分になされなかったと認識している。地域予算については、何年度までとは申しあげられないが、市全体で2,400万円で推移するものと事務局は考えている。今年度、藤岡地域は288万だったが、それが当面続くだろうと想定している。</p> <p>◎会長 どんなまとめ方がよろしいだろうか。事務局でふるいにかけてもらうか、皆さんでまとめる方がよいか。</p> <p>◎D委員 内容をみると、地域予算に馴染むもの、馴染まないものがある。全部検討するには時間が足りないので、ふるいにかける作業は必要だと思う。</p> <p>◎E委員 初年度であるので、実現可能な中で選別していくことにはなるが、選択されなかった課題については今後どのように検討していくか考えはあるのか。</p> <p>○事務局 委員の皆さんから出された課題は、今回で処理を完結するものではなく、後に引き継ぎ検討していただくことになる。その結果、実働組織に引き継ぐ。あるいは、実働組織だけでは叶わない課題は地域予算提案制度に繋ぐ、この二通りの方法になると思われる。</p> <p>◎F委員 具体的に何かをやるとなると、288万円はすぐに消化してしまう金額だ。ピンポイントで何に使うかを、皆さんが同じ方向を向いていけるまでどう詰めていくかが肝心だ。</p> <p>◎C委員 288万円で市に実施してもらいたい課題が、私の判断では10項目ぐらいある。いずれにせよ優先順位を付けていくことになるだろう。今後、実働組織も含めて実現させていく課題と、今年度の地域予算提案で実現させる課題とに分けて考えるべき。</p> <p>◎B委員 単年度事業だけではなく、継続事業として取り組むことが大事だが、今回は間に合わない。例えば、遊水地などのテーマごとに今年度単年度として取り組むもの、継続を念頭としてやっていくものを仕分ける。または、以前の地域協議会で建設経済班と教育厚生班に分かれたが、半々程度に分けて絞っていかないと進まない。</p> <p>◎G委員 多くの課題があるため、アンケート形式で提案について実現可能か、優先順位を含めて各々判断したものを事務局で集めてもらい、それをふまえて最終的に決めてくというのはいかがでしょうか。</p> <p>◎H委員 最初から実現不可能な課題があれば、知らされていた方が選択しやすい。</p> <p>◎B委員 資料の凡例を見るとD、Eは今回実現不可能ということになるが、事務局はこの判断が付いていることと思う。また、資料で気になったのは、提案者として地域まちづくりセンターが多く出てくるが、これはどういうことか。</p> <p>◎会長 あくまでも参考意見として掲載した。</p>
--	--

◎A委員	事務局ではあたりがついており実現可能性は判断できると思うので、事務局に振り分けてもらった方が我々も言いやすい。
◎B委員	タイムスケジュールが大変なのは皆さん分かっている。今回は、例外として事務局にある程度リードしてもらおうということ。
◎A委員	継続して検討すべき課題も多いが、継続して取り組む課題でも、単年度で出来ることもあるので、まずは事務局にふるいにかけてもらい、その後で我々委員が意見を述べてさらにふるいにかけての方が検討しやすいと考える。
◎会長	事務局で選別をしてもらうか、アンケート形式で皆さんからの意見を出してもらい意見をまとめるか、どちらかになると思うがいかがか。
◎E委員	初年度ということで皆さん認識が不十分なところもあるため、今年度については事務局一任で順位を決め、残った課題については引き続きこの会議の中で検討していけば良い。
◎会長	事務局側として優先順位を付けることが可能かどうか聞きたい。
○事務局	優先順位については、委員の皆様で決めていただきたい。実現可能性については、事務局の方で所管課と協議し判断することは可能かと思う。その上で検討されるということであれば、第3回地域会議で示すことは可能だ。
◎I委員	この会議に参加するにあたり、栃木市長に対して我々の意見を会議の中から言えるのだという夢を持っていた。この会議は、288万円の消化事業だけを定める集まりなのか。そうではなく、288万円の中では出来ないが、将来的には市長に対して藤岡地域をより良くするために提案することは可能なのか。
○事務局	会議の発足から地域予算提案制度が役割として強く示されたための懸念かと思う。従来の地域協議会は、定例的な意見書提出や地域協議会が必要と認めた場合の緊急の意見書提出を行ってきた。藤岡地域会議からも、真に必要であれば意見書を提出することは可能となっている。今回地域予算への採用を見送った課題についても、掘り下げていただき、皆さんの合意で市長に届けるべきとされれば、意見書を提出することは制度上可能である。夢をもっていて結構である。
◎I委員	今回委員から出された課題は、藤岡地域を良くするための発案であり、どれも非常に貴重な意見で、市長にすべてを吟味していただいた上での判断が一番良いとは思いますが、我々から発信できるというのであればありがたい。
◎会長	事務局で実現可能な課題を洗い出してもらい、最終的には我々で判断する。さらに、追加の課題についても遠慮なく事務局に提出してもらいたい。
◎D委員	私の提案した内容なのだが、あくまでもこの地域会議の地域予算の枠の中での課題として取り扱われるのか、あるいは遊水地課に予算があれば実現可能なものなのか。
○事務局	遊水地課との協議の結果、既に対応に着手しているものであれば、この具体的課題については、次回以降の会議には持ち越さないこととなる。
◎D委員	承知した。
◎会長	それでは、事務局に実現可能性で振り分け作業をお願いし、次回会議で、我々委員が実現可能性を有する課題の中から選択していくという事によろしいか。

◎委員	異議無しの声。
	(3) その他
◎会長	委員に対し、その他の協議事項の有無について確認した。
◎会長	委員から提案等が無い場合、事務局に対しその他の協議事項の有無を確認した。
○事務局	藤岡地域会議だより発行スケジュール(案)について、説明した。
◎委員	《了承》
◎会長	この会議は、288万円を決める会議ではなく、最終的には、皆さんで藤岡地域を遊水地を含め活気ある町にするための会議であるので、協力よろしくお願ひします。長時間ご協力ありがとうございました。
◎会長	議事の終了により、以降は事務局が進行する旨を述べた。
	5 その他
○事務局	委員に意見等を求めた。
○事務局	委員から意見等が無い場合、次回会議は、7月14日(火)午後6時30分から開催すること及び藤岡地域の身近な課題の追加提案を6月29日(月)まで受け付けること、以上2点について連絡した。
	6 閉会
○事務局	午後8時34分をもって第2回藤岡地域会議を閉会する旨を宣言した。

別紙 出席者及び事務局職員

出席者（委員）

会 長	小曾根 慎 一	副会長	田 中 廣
委 員	飯 塚 俊	委 員	井 岡 治
委 員	池 田 昇	委 員	石 川 悦 史
委 員	斎 藤 久 美	委 員	田 熊 豊 和
委 員	田 村 孝 子	委 員	毛 塚 麻由美
委 員	福 地 智 子	委 員	山土家 光 幸
委 員	萩 原 繁	委 員	町 田 佳 子

欠席者（委員）

委 員	小笠原 義 仁	委 員	酒 井 一 則
-----	---------	-----	---------

出席者（事務局職員）

藤岡総合支所

田 中 徹（藤岡総合支所長）

（藤岡地域まちづくりセンター）

飯 塚 勝（地域まちづくり課長）

山 市 進（同 主幹）

亀 田 ミユキ（同 主査）

五十畑 文 寛（同 主査）